禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B84

「中央職業能力開発協会編」

令和５年度 技能検定
２級 塗装 学科試験問題
(建築塗装作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　重防食塗装とは、海岸や海上のような腐食性の厳しい環境に建設される鋼構造物の塗り替え周期を長くするための防食性、耐久性を有する防食塗装をいう。

2　液体塗料用の静電塗装機では、一般に、霧化された塗料粒子は、プラスに帯電している。

3　塗料は、一般に、塗料の温度が低くなると粘度も低くなる。

4　2液混合形塗料の特徴の一つには、塗装時の温度、湿度に関係なく、期待する塗膜性能が得られることがある。

5　クロスカット法(碁盤目試験)は、塗膜の耐候性を調べる試験である。

6　表面温度の高い被塗物に塗装を行った場合は、塗膜にピンホールが発生することがある。

7　塗装において、マスキングテープを取り除く時期は、塗膜が完全硬化してからがよい。

8　日本産業規格(JIS)によれば、研磨材の粒度による種類でP220の研磨紙は、P400の研磨紙よりも研磨材の粒子が細かい。

9　顔料は、水、油及び有機溶剤によく溶ける。

10　油性さび止めペイントは、塗料用シンナーによって希釈することができる。

11　低温時に油性塗料を塗装する場合には、乾燥を早めるために、リターダーを塗料に添加することがある。

12　色相対比とは、赤と黄色の上に同じ橙色を置くと、赤の上では赤みの強い橙色に見え、黄色の上では黄みの強い橙色に見える現象である。

13　マンセル記号が「*N*8」の色は、「*N*5」の色よりも明るい色である。

14　日本産業規格(JIS)によれば、立入禁止の場所を示すための安全マーキングには、黄／黒の色帯を用いる。

15　消防法関係法令によれば、引火性液体は、危険物の第二類に分類されている。

16　有機溶剤中毒予防規則によれば、有機溶剤は、第1種、第2種及び第3種の3種類に区分されている。

［A群（真偽法）］

17　合板の規格は、日本農林規格(JAS)によって規定されている。

18　オイルパテは、モルタル外壁面のひび割れを埋める用途には適していない。

19　日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、亜鉛めっき鋼面のつや有合成樹脂エマルションペイント塗りにおいて通常実施する工程は、「素地調整→下塗り→中塗り→上塗り」とされている。

20　せっこうボード下地の目地処理には、マスキングテープを使用するとよい。

21　鉄鋼面の素地ごしらえにおいて、ブラスト法でさび落としをした鉄鋼面は、1日以上放置してから下塗りする方がよい。

22　カップワイヤーホイールは、一般に、リベット頭、ボルト頭などの素地調整用に適している。

23　スチップル仕上げは、布地を壁面に貼り付け、それに着色して布地が見えるようにした仕上げである。

24　圧送式スプレーガンは、一般に、重力式スプレーガンよりも連続塗装に適している。

25　鉄筋コンクリート造は、圧縮に強いコンクリートと、引張りに強い鉄筋とを組み合わせた構造である。

［B群（多肢択一法）］

1　次のうち、一般に、ローラーブラシ塗りをする箇所として、適切でないものはどれか。
　イ　壁面
　ロ　天井
　ハ　屋根
　ニ　ボルト部

2　淡彩色の調色に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　調色は、一般に、白塗料に原色を少量ずつ加えながら行う。
　ロ　原色は、分量を多く添加するものから混入していく。
　ハ　黒は、添加し過ぎると調整しにくくなる。
　ニ　比色は、塗膜が乾燥していない状態で行う。

3　次のうち、主に硬化剤によって硬化する塗料はどれか。
　イ　ニトロセルロースラッカー
　ロ　一般用さび止めペイント
　ハ　ふっ素樹脂塗料上塗
　ニ　アルキド樹脂塗料

4　塗膜の隠ぺい率測定に用いられる隠ぺい率試験紙は、2色に区分されているが、その2色の組合せとして、適切なものはどれか。
　イ　白と赤
　ロ　白と黒
　ハ　白と黄
　ニ　白と青

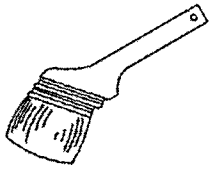
5　塗装欠陥の種類とそれにより生じる現象の組合せとして、適切でないものはどれか。

塗装欠陥の種類	現象
イ　白化	塗膜を暴露したとき、劣化した樹脂及び顔料が膜から分離して、粉状となる現象
ロ　リフティング	同種又は異種の塗料を塗り重ねたとき、下塗りの塗膜が侵されてしわになる現象
ハ　はじき	塗料が部分的に反発して、被塗面に均一に付着しない現象
ニ　はけ目	はけ塗りで、はけの方向にすじ目が残る現象

6　塗装作業において、養生に使用しないものはどれか。
　イ　布テープ
　ロ　リムーバー
　ハ　ビニルシート
　ニ　飛散防止用ネット

［B群（多肢択一法）］

7　次図のはけの名称として、適切なものはどれか。



イ　ずんどうばけ
ロ　すじかいばけ
ハ　平ばけ
ニ　丸ばけ

8　鉄鋼面の下塗り塗料の特性に関する記述として、適切なものはどれか。
イ　水分や塩類などの腐食因子の浸透を抑制する働きがある。
ロ　色相は、赤さび色やさび色に限定される。
ハ　耐光性が特に優れている。
ニ　上塗り塗料よりも光沢がよい。

9　塗料のうすめ液の使用目的として、適切でないものはどれか。
イ　乾燥速度の調整
ロ　粘度の調整
ハ　引火性の調整
ニ　塗装用具の洗浄

10　文中の(　　)内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。
日本建築学会建築工事標準仕様書(JASS)によれば、塗装工事において、(　　)は、下地面のくぼみ、すき間、目違い部分などにパテを付けて平らにする作業と規定されている。
イ　パテかい
ロ　節止め
ハ　下塗り
ニ　目止め

11　次の色のうち、無彩色はどれか。
イ　黄
ロ　赤
ハ　灰
ニ　青

12　マンセル表色系において、紫を表す色相記号はどれか。
イ　B
ロ　P
ハ　RP
ニ　YR

［B群（多肢択一法）］

13　日本産業規格(JIS)に規定されている安全色のうち、「赤」が示す意味として、誤っているものはどれか。

イ　防火
ロ　停止
ハ　禁止
ニ　注意

14　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

消防法関係法令によれば、危険物第四類第一石油類における水溶性液体の指定数量は、(　　)リットルとされている。

イ　100
ロ　200
ハ　300
ニ　400

15　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

労働安全衛生法関係法令によれば、酸素欠乏とは、空気中の酸素の濃度が(　　)%未満である状態をいう。

イ　25
ロ　22
ハ　20
ニ　18

16　文中の(　　)内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

施工直後のコンクリートは、含水率が(①)、(②)を示す。

　　①　　②
イ　高く・・・アルカリ性
ロ　高く・・・酸性
ハ　低く・・・アルカリ性
ニ　低く・・・酸性

17　建築工事監理指針によれば、合成樹脂エマルションペイントの乾燥硬化機構はどれか。

イ　揮発酸化乾燥
ロ　揮発乾燥
ハ　反応硬化乾燥
ニ　分散粒子融着乾燥

［B群（多肢択一法）］

18　日本産業規格(JIS)におけるエッチングプライマーに関する記述として、適切でないものはどれか。

イ　金属素地に対する塗装系の付着性を増加する目的で使用するものがある。
ロ　中塗り用の塗料である。
ハ　鋼板の素地面に一時的に防せい力を付与する目的で使用するものがある。
ニ　1種と2種がある。

19　木部のクリヤラッカー塗りの工程の順序として、適切なものはどれか。

イ　サンジングシーラー塗り→ウッドシーラー塗り　→クリヤラッカー塗り
ロ　ウッドシーラー塗り　→クリヤラッカー塗り　→サンジングシーラー塗り
ハ　サンジングシーラー塗り→クリヤラッカー塗り　→ウッドシーラー塗り
ニ　ウッドシーラー塗り　→サンジングシーラー塗り→クリヤラッカー塗り

20　鉄鋼面の素地調整に使用する器工具として、適切でないものはどれか。

イ　サンドブラスト
ロ　ハンドブレーカー
ハ　ワイヤブラシ
ニ　スクレーパー

21　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

公共建築改修工事標準仕様書によれば、鉄鋼面の下地調整の種別は、特記がなければ、(　　)種とすると規定されている。

イ　RA
ロ　RB
ハ　RC
ニ　RD

22　鋼板素地の脱脂方法として、適切なものはどれか。

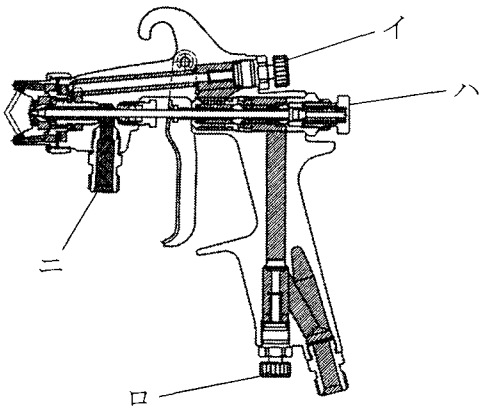
イ　塩酸洗いの後、水洗いし、乾燥を行う。
ロ　りん酸洗いの後、水洗いし、乾燥を行う。
ハ　キシレンで洗浄後、乾燥を行う。
ニ　乾いたウエスでふき取った後、水洗いし、乾燥を行う。

23　パイプなどのR面や曲面部を能率的に塗装するものとして、一般に、最も適しているものはどれか。

イ　クッションローラー
ロ　Cチャンネルローラー
ハ　モルトローラー
ニ　スチップルローラー

［B群（多肢択一法)］

24　次図は、エアスプレーガンの構造を示しているが、図中のイ～ニのうち、パターン開き調節装置はどれか。



25　鉄骨鉄筋コンクリート造の略称はどれか。

イ　RC造
ロ　SRC造
ハ　S造
ニ　W造